



リッリッ

7 月号
No.172



きれいな町づくりに一役(長生会)

人口と世帯

世帯数	1,421	(+1)
人口	5,502人	(△9)
男	2,773人	(△4)
女	2,729人	(△5)

昭和60年5月末日現在
(住民基本台帳登録人口)

おもな内容

- 2.....利尻町の新町長が決まりました
- 3～4...議会だより
- 4～6...町政に対する一般質問
- 6.....非行・クラブ活動の悩み
- 7.....夏の交通事故防止
- 8.....りしりの博物誌
- 9.....国民年金だより・保健だより
- 10～11...利尻町事務分掌一覧表
- 12.....郵便局だより
- 13.....観光客を親切に迎えよう
- 14.....戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録7月1日現在1384日



利尻町の新町長が 決まりました



保野力雄氏利尻町長に当選す
町議会議員三名も決まる

五月二十六日執行予定の町長選挙及び議会議員補欠選挙は、五月二十一日告示し、同日立候補者の届出を受付、締切ったところ届出た方が選挙する数(町長一名町議会三名)を超えなかつたので法律の規定により投票を行わず、五月二十六日の選挙会及び選挙管理委員会において届出のあつた方を当

選人とすることに決定されました。
当選人となつた方は、次のとおりです。

- 利尻町長 保野 力雄氏
- 利尻町議会議員 不破 保氏
葛西 明俊氏
菅野 守氏



●町長 保野 力雄(昭和二年十月二十九日生 五十七歳)
(略歴)町長一期目
昭和十八年五月沓形村勤務、同十九年十二月財務係、同二十四年三月総務係(同三十一年九月洞仙法志村と合併し利尻町となる)、同三十五年四月国保衛生係長、同三十六年四月総務係長、同三十七年十月社会係長、同三十八年七月総務課長、同四十年六月民生課長、同四十二年五月総務課長、同五十三年十月助役同六十年五月町長に当選。



利 尻 町 民 憲 章

1. 元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
1. 文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
1. 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
1. 未来をつくる、子どものしあわせなまちをつくりましょう。

助役に 糸谷 克明氏 (収入役)

収入役に 白幡 昭三氏 (教育長)

教育長に 五十嵐国夫氏 (総務課長)

選任される

●助役 糸谷 克明

昭和九年三月十八日生 (五十一才)



(略歴) 助役一期目
昭和五十四年三月近畿大学短期
大学部卒業 (通信教育)

昭和三十三年四月利尻町役場奉
職、同三十七年四月財政係長、同
四十四年四月碎石事業所長、同四
十六年四月簡易水道事業所長、同
四十八年四月国民宿舍支配人、同
五十年四月農林商工課長、同五十
三年四月水産課長、同五十三年十

一月総務課長、同五十九年三月収
入役、同六十年六月助役に選任さ
れる。

●収入役 白幡 昭三

昭和四年十一月二十日生 (五十五才)



(略歴) 収入役一期目

昭和十九年三月沓形村勤務、同
二十七年三月同村退職、同三十三年
利尻町税務係勤務、同三十七年
十一月税務係長、同四十年六月税
務課長、同四十二年五月民生課長

同四十七年四月国保病院事務局長
同五十年四月住民課長、同五十三
年四月議会事務局長、同五十三年
十月教育長、同六十年六月収入役
に選任される。

●教育長 五十嵐 国夫

昭和十一年十月二十八日
生 (四十八才)



(略歴) 教育長一期目

昭和三十二年五月利尻町役場奉
職、同月税務係、同四十年六月
総務係長、同四十四年四月財政係
長、同四十七年四月民生課長、同
五十二年四月教育委員会次長、同
年国保病院事務長、同五十九年四
月総務課長、同六十年六月教育長
に選任される。

議 会 だ よ り



◎利尻町国民健康保険税条例の一
部を改正する条例
この条例は、保険税を一部改正
したもので、おもなものは次のと
おりです。

一、減額算定額
現行 十九万円
改正 十九万五千元

利尻町国民健康保険税条例の一部改正のあらまし

国民健康保険税の税率の改正

	現	行	改	正
所得割	100分の5.2		100分の8.4	
資産割額	100分の70		同	左
被保険者均等割額 (被保険者一人について)	9,000円		9,500円	
世帯別平等割額 (一世帯について)	16,000円		同	左

国民健康保険税の低所得者の減額の改正

	現	行	改	正
被保険者均等割額 (被保険者一人について)	5,100円		5,400円	
世帯別平等割額 (一世帯について)	7,800円		9,600円	

(イ) 6割軽減

	現	行	改	正
被保険者均等割額 (被保険者一人について)	3,400円		3,600円	
世帯別平等割額 (一世帯について)	5,200円		6,400円	

(ロ) 4割軽減

	現	行	改	正
被保険者均等割額 (被保険者一人について)	3,400円		3,600円	
世帯別平等割額 (一世帯について)	5,200円		6,400円	



◎昭和六十年度利尻町一般会計補
正予算 (第三号)
この予算は、これまでの予算額
に歳入歳出共に、一億三千万三千
円を追加し、総額二十七億六千五
百五十四万三千円としました。

昭和六十年第五回利尻町議
会 (定例会) は、六月十日招
集され、会期を一日間と定め
たあと諸般の報告、町長の行
政報告にひきつづき、補正予
算案他について審議し原案ど
おり可決いたしました。
その内容は次のとおりです。

◎工事請負契約の締結について

これは、利尻町憩いの広場新設工事を次のとおり契約したものです。

一、契約の目的

利尻町憩いの広場新設工事

一、契約方法

指名競争入札

一、契約金額

四千九百九十七万円

一、契約の相手方

三興建設株式会社

代表取締役 加藤孝三郎

◎工事請負契約の締結について

これは、利尻町除雪センター新築工事を次のとおり契約したものです。

一、契約の目的

利尻町除雪センター新築工事

一、契約方法

指名競争入札

一、契約金額

五千六百五十万円

一、契約の相手方

株式会社 吉安組

代表取締役 吉安 隆也

◎利尻町砕石事業運営協議会委員の委嘱につき同意を求めることについて

菅野議員
不破議員が委嘱されました。

◎助役の選任につき同意を求めることについて

糸谷克明氏（収入役）が選任されました。

◎収入役の選任につき同意を求めることについて

白幡昭三氏（教育長）が選任されました。

◎教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

五十嵐国夫氏（総務課長）が任命されました。

町政に対する一般質問

このたび開かれた第五回利尻町議会（定例会）において次の一般質問がありました。その質問、答弁の要旨は次のとおりです。

質問

一、町政担当にあたって

昭和六十年度が始まって二ヶ月あまり。

各事業も漸く着手され町内にも活気が見えてきましたが、年度始め同様のうちの町長誕生ですので、所信表明があるものと考えて居りましたところ、予定がないようなので次のとおり質問します。

この度の町長選挙で、あなたの立起表明やその後の選挙期間中の町民に対する所信や決意を聞いて大変心強く感じ、又、永年の行政

にお答え下さい。

(1) 公供事業について、その事業の直接効果も大切であるが、波及効果も重視してどんなやり方かと言っておりましたが、その真意をお聞かせ下さい。

(2) 観光産業の重視を訴えて居りましたが、現在既に小樽・稚内・利尻三町協力のうえ、道内外の観光客導入に活発に働いておられますことご承知の通りですが、更に町長として新たな積極策をお考えでしたらご披露願います。

(3) 一連の船揚場造成事業は終了したと言ふことで、その後いくつかの地域からお願ひされている拡張や新設事業は、待った状態でご具体化されておませんが、新町長は特に必要と認めた箇所は、町費単独でも施行してやるべきと考えるが如何ですか。無駄な投資とは思われませんか。

(4) 高齢のための立枯れ木の処理について、前町長時代にも質問したことがあります。断られなくなったことありますが、規模をどうするか、あるいはまた事業費をどの程度にまでもつていけるのかまだ具体化していません。そのほかに公民館にしても砕石のプラント整備にしても具体的なことは決っていない訳です。

に働きかける考えはないかお聞きします。
只今のご質問にお答えいたしますが、

所信表明の問題については、このことについては昭和六十年年度の執行方針ということで、前小島町長が三月議会で表明しております。私はその当時助役ですからこの執行方針の作成については参画しており、だいたい具体的になっている訳ですから更に私から申し上げることはないのでないかというふうに申し上げておきます。

それから次に、いわゆる肉付けについての問題ですが、このことは昭和六十一年度以降の計画として私は言っている訳でございます。たしかに小島町長時代にいろいろ大きな計画や執行するものもっております。

一例を上げると、役場新庁舎の建設にしましても、六十一年度、六十二年度の二ヶ年でやるということでは決っておりますが、規模をどうするか、あるいはまた事業費をどの程度にまでもつていけるのかまだ具体化していません。そのほかに公民館にしても砕石のプラント整備にしても具体的なことは決っていない訳です。



昭和六十年年度が始まって二ヶ月あまり。各事業も漸く着手され町内にも活気が見えてきましたが、年度始め同様のうちの町長誕生ですので、所信表明があるものと考えて居りましたところ、予定がないようなので次のとおり質問します。この度の町長選挙で、あなたの立起表明やその後の選挙期間中の町民に対する所信や決意を聞いて大変心強く感じ、又、永年の行政

にお答え下さい。(1) 公供事業について、その事業の直接効果も大切であるが、波及効果も重視してどんなやり方かと言っておりましたが、その真意をお聞かせ下さい。(2) 観光産業の重視を訴えて居りましたが、現在既に小樽・稚内・利尻三町協力のうえ、道内外の観光客導入に活発に働いておられますことご承知の通りですが、更に町長として新たな積極策をお考えでしたらご披露願います。(3) 一連の船揚場造成事業は終了したと言ふことで、その後いくつかの地域からお願ひされている拡張や新設事業は、待った状態でご具体化されておませんが、新町長は特に必要と認めた箇所は、町費単独でも施行してやるべきと考えるが如何ですか。無駄な投資とは思われませんか。(4) 高齢のための立枯れ木の処理について、前町長時代にも質問したことがあります。断られなくなったことありますが、規模をどうするか、あるいはまた事業費をどの程度にまでもつていけるのかまだ具体化していません。そのほかに公民館にしても砕石のプラント整備にしても具体的なことは決っていない訳です。

それらを具体化し、固めていく必要がある訳ですが、そういうことを私は肉付という表現で申し上げているのであります。それから小島町長時代に昭和六十三年年度までの十ヶ年の新総合振興計画ができております。これはすでに前期計画は終って、後期の方に入っておりますが、後期計画につきましてやはり時代も変わってきておりまして、例えば単価などにつきまして、例えば低い見方をしており、また事業内容そのものにつきまして、もかなり見直さなければならぬものもある訳です。そういったものに見直しをかけ、今年の十二月までに実施計画として作り直したいという考えをもっております。肉付けというのはそういう意味で使った訳ですのでご了承いただきたいと思っております。

よって町内の住民の方々が雇われるとするならば賃金という形でハネ返ってくると思えますし、またこの事業をやることにより建設資材あるいは土木資材、油、日用品等を町内で供給できるとするならば、やはりそういった業者が受ける恩恵も大きなものがあり、地域の活性化や景気浮揚にも役立つだろうと考えます。それから公共事業の場合ほとんどが砕石を使用することになるかと思いますが、砕石の売上が伸びれば砕石事業会計の黒字も増え、その黒字は一般住民に還元している訳なので、そういった波及効果もかなり大きいものがあるだろうということで、波及効果という表現をした訳でございます。

観光産業の問題ですが、私はやはり道内の観光客の誘致も大切ですが、地元にお金を落としてくれるということを考えるとするならば、これからは関東以南の観光客を重点的に誘致すべきではないかと考えます。それから観光のPRをするにしても、一町だけでなく利札三町、稚内市、小樽市などと協同してやるべきだということ、また観光施設の整備、それから受け入れ体制の問題これらを更に積極的に進めて参りたいという考えであります。それで、新町長として何か新しい考えはないかということですが、三年程前に旅館の受入れについて、このままでは低下していくのではないかということで旅館業者の方々を集め話し合いをしたことがございます。その際、大幅な増改築なりそういったことをする気持ちがないかどうか、もしあるとするならば町として例えば利子補給なり税の免除という形で応援するというお話をしましたがその時点では二ヶ月ないし三ヶ月間の観光時期だけでは収支が合わないということと断念をした経緯があります。それから国民宿舎増築の問題も出ておりましたが、増築となると三千万や五千万の経費ではなく億の費用がかかり、夏期間満杯になるにしても、年間元利償還を含めて四千万程の赤字が予想され、今すぐに計画を立てる訳にはいかないと思えます。ただこれらについては将来の検討課題であるというふうに私は考えております。

船揚場の造成については、私はもう一回全町の必要な箇所を見直す必要があると思っております。それから、町費単独ということですが船揚場の場合少しやっても一千万や二千万かかりますので、小さな維持補修的なものは単独でやるにしても、やはり補助金を仰ぎましたは効率のよい起債を仰いで、なるべく持ち出しを少なくする形で実施してまいりたいと考えております。

立枯れ木を処理することは、簡単にはいきませんが、ご質問のとおり見ぐさいものについてはかたづけられた方が私は良いと思います。立枯れの木もその場所によっては風情があり絵になる所もあると思っております。そういうものは残すとしても、あまりにもひどいものについては、支庁の林務課と相談し処理の方法を検討したいというふうに考えております。

一、利尻島国保中央病院の運営について

一部事務組合方式による、利尻島国保中央病院の運営に対する年間収支の見通しと、赤字額が出た場合に両町の負担割合について具体的な取り決めがあるかどうか、もしあるとすれば、内容について説明を願いたい。

なお、医師の確保については、道からの派遣医師にのみ頼っている傾向にあるが、将来的な面から考えて固定医に対する考えはどうか、町長の所信を伺いたい。

二、私道的個所の整備について

町内における私道的な個所に対しても、きめ細かな配慮がなされているが、住民より不公平な取扱がなされているような声があるので、町内再点検のうえ、住民の不満解消に努める考えはないかお訪ねしたい。

答弁一町長

只今のご質問にお答えいたします。

第一点目の利尻島国保中央病院の収支の見通しについてですが、今までの国保病院事業経営実績、それからまた新しくなることよっての管理費あるいは人件費等の予想を含め、単年度でいたい一億ないし一億二千万程の赤字が出るのではないかと考えております。ただ仮に一億二千万出たとしましても元利償還金が四千万、それから減価償却費で二千万くらいありますから実質赤字としては六千万程になるのではないかと考えております。それについて、それを累積するのではなく、単年度で一般会計から繰入れして赤字は残さないという姿勢で運営して

まいりたいと考えております。

それから赤字が出た場合に両町の負担割合はどうなるのかというのですが、このことにつきまして両町でとり決めをしております。その計算方法としては、内科以外、いわゆるこの場合は外科と婦人科ということになるのですが、この診療については両町の患者数で赤字額を按分した額を負担することになっております。内科以外にしたということは、うちの方も今まで内科をもっておりますし、東利尻町についても篤泊診療所や道立鬼脇病院で内科をもっていますし、そういったことで内科ははずしています。しかし外科・婦人科についてはやはり島内の患者の利便を考えて中央病院をおく訳です。それから東利尻町も相応の負担をするということを取り決めをし、確約書をおわけております。

それから医師確保の問題ですがここ二、三年は自治医大の先生に来ていただいております。自治医大の先生につきましてはやはりへき地に対する責任感というか、そういった意識がかなり強く、その親切さは住民からも非常に喜ばれている現状です。しかし今後いつまでも自治医大の先生に頼っていくかというところという訳にもい

ないと思います。そういうことから、旭川医大も年々卒業者も多くなってきたりしますし、旭川医大自体も道北の医療はやはり自分達がやらなければという考え方もあって来ており、やはり将来は旭川医大とのパイプを太くして、そこから派遣していただくような形にもって行きたいと考えております。なお、十月から発足する新病院の外科医につきましては、旭川医大の第一外科から一ヶ月交替になるか二ヶ月交替になるかわかりませんが常時派遣していただくことになっております。

第二点目の道路の問題についてですが、いわゆる私道というものもかなりあると思う訳ですが、基本的にはそういった道路については将来、住民が共に使用する道路であれば、やはり土地を町が買収し町道として認定していくべきだという考え方もしております。ただ、土地の買収についてはいろいろ問題もあると思いますが、やはりそういった人達というのはおそらく負担もかかっているだろうし、いろいろ不便を、感じていると思えますので、今後配慮をしてみたいというふうにご考えております。



クラブ活動の悩み

中学二年ともなると、進学・受験を多少意識して、勉強とクラブ活動の両立に悩む生徒が多くなってきました。生真面目で適当に楽しむことのできない子供ほど悩んでいるようです。いわゆる器用でない子、のめりこむタイプに多いですね。一方、お母さんはどう見ているのかといいますと、両立できないはずがない。両立させてこそクラブ活動の意義があると考える人が多いようです。ただし建前として、ところが、クラブ活動には目もくれず、「帰宅部」専科

で塾通いをしている近所の同級生を見ると、お母さんは動揺します。ウチの子、大丈夫だろうか。あんなにクラブに打ち込んで、勉強がおろそかになりはしないか……。口では建前を言いつつも、言葉のはしはしに、何気ない表情に、ホンネが顔を出すようになります。子供は、これを見逃しません。母親の気持ちを敏感にキャッチします。これが「両立の悩み」にいつそ拍車をかけることになるのです。お母さんは、じっくりホンネで話し合う機会をもってはいかがでしょう。子供の考え方・悩みを聞き、勉強とクラブのウエイトの置き方、両立のさせ方を二人で考えるのです。子供の将来計画にもよりますが「クラブは楽しみながやる」ことをアドバイスするのも一つの方法です。技術的な面であり過大な目標を立てたりせず、好きだからやるという気持ちを買ってこそ「両立」の道も開けてくるのではないのでしょうか。

■親の評価の違いが子供の心に影響を与える

勝敗を争い優劣を決める運動では、体力・能力の差がはっきり出ます。三年間ずっと野球部について一度も正選手になれない、へたをすると後輩に追い抜かれそう……。この悩みも子供によっては深刻です。親が「ダメな子ね」と思うか「いいじゃないの、世の中99%の人が補欠なんだから」と考えるか——この評価の違いが子供の心に微妙に影響します。

世の中、勝者がいる一方で必ず敗者がいること、自分より優れた他人がたくさんいること、努力が報われるとは限らないことなどを知り、併せて人間の弱さ・心の痛みがわかるようなことも大事なことでないでしょうか。そして、敗者のくやしい気持ちをいかして明日のフアイトにつなげていくか。この切替えのすべを身につけることも大切です。敗者の心情が劣等感となって心の底に根づかなないように——。ご両親の適切なアドバイスが望まれます。

■ふだんから親子でクラブの話しよう

このような悩みに、上級生や下級生とのタテの人間関係がからんでくる場所にクラブ活動の特色があります。こうした人間関係が核となって集団で万引をしたり、リンチ事件を引き起こすケースがよく見られます。子供の日常生活に十分こころ配りをすると同時にふだんからよく話し合う習慣をつけておくようにしたいものです。

夏の交通安全防止

(夏の交通安全運動)



・実施期間
昭和60年7月22日から
昭和60年7月31日まで

・重点目標
一、子供と老人の交通事故防止
二、二輪車等の交通事故防止

……事故をよぶ 酒が
……疲労が スピードが……
……だいたいしようぶ
でも もう一度右左……

道内における交通事故死は、増加の一途を歩んでおります。これから観光シーズンの最盛期をむかえ暑さによる疲労、無謀な追い越し、スピードの出し過ぎ、居眠り運転などによる交通事故が心配される時期でもあります。一人ひとり注意し、事故のない楽しい夏をすごしましょう。
(重大事故をふせぐために)

・カーブではスピードを落す
急カーブはもちろん、ゆるいカーブでもスピードの出し過ぎは危険です。カーブの手前では必ずスピードを落しましょう。
・追い越しは死を招く
スピードの出し過ぎ、無理な追い越しは絶対にやめましょう。
・シートベルトは必ず着けて
シートベルトは、あなたの命を守ります。

・飲酒運転は絶対にやめましょう
(幼児の交通事故防止)
・幼児の飛び出し注意
最近、幼児の飛び出しによる事故が多くなっています。一人歩き、道路での遊びは、危険ですので注意しましょう。
・家庭では、お父さん、お母さんが手本を示めし、子供に正しい交通ルールを身につけさせましょう。



子供は動く赤信号



運転免許証に関する知識

免許証更新の手続

免許証の更新は、有効期間の満了する日の一カ月前から有効期間が満了する日までの間に受けなければなりません。

①免許証更新申請書

②免許用写真(たて三・〇cm×よこ二・四cm) 一枚

③現に有する免許証(停止処分中の者は、処分通知書)

④更新手数料(二、〇〇〇円(紙証)尚、免許証の更新を受けようとする方は、更新時講習を受けなければなりません。

免許証をなくしたときは
免許証を盗まれたり、落とした

り、あるいは火災等で焼失したときは、免許証の再交付を受けることができます。

住所や氏名が変わったときは

結婚や転居などによって、免許証の記載事項に変更があった時は速やかに新住所地の公安委員会、(試験場所在地にあっては試験場その他の地域は警察署)に記載事項の変更届をして下さい。

①免許証記載事項変更届書

②住民票の写し(本籍又は氏名変更以外は住所を明らかにできるその他の書類でもよい)

運転免許証取扱業務について

稚内警察署では、利尻島内の、運転免許証の取扱業務を沓形警察官派出所だけで、取扱っておりますので間違いのない様お願いいたします。

〈取扱い業務は〉

- 運転免許証交付事務
- 運転免許証更新事務
- 運転免許証記載事項変更届事務(取扱日時)

毎週木曜日
午前九時より午前中

免許証更新時講習

- 8月21日(火)
- 利尻町公民館(仙法志)
- 午後6時30分

リリリ 博物館誌

(28)

絵ハガキにみる利尻

利尻町立博物館では六月一日から三〇日まで、第四回期間展示「絵葉書のいろいろ」をおこないました。約四五〇枚の絵葉書の展示のなかに三〇枚ほどの利尻関係のものがありますが、今回の博物館誌は、そのなかから一枚の絵葉書を取りあげ紹介します。

この絵葉書は、「沓形港より北見富士を望む」というタイトルで紹介され、鈴木萬年堂発行のもので、裏面に「メイヂ四五年」というメモ書きが残されていることから、おそらくその当時に発行されたものであることがわかります。沓形築港以前の貴重な写真で、ニシン漁舎が立ちならび、弁財船が停泊しています。また、沓形小学校、北見富士神社が現在地と同じ場所にあります。

沓形港の歴史については、「沓形漁港のたんじょう」（昭和五六

年発行）で詳しく述べられていますので、そのなかからかいつまんで紹介してみます。

利尻への定期航路は明治十七年にはじまりますが、沓形への寄港は明治三十六年からはじまります。もちろん港は整備されていなかったのですが、定期航路を実現させるためには港の整備が欠かすことのできないものとしてあり、また、ニシン・タラ等で栄える漁業をさらに発展させるためにも漁港づくりが急がれていた訳です。

このことから、大正七年から沓形漁港築設の陳情がおこなわれるようになりました。

北海道は明治四三年から「北海道第一期拓殖計画」が十五年計画で始まっていますが、沓形港の築設は陳情の成果から、その拓殖計画に編入され、大正十年沓形築港事務所を開設し工事が着工されました。

大正十年度の国費予算に沓形築港の予算が計上されると、提灯、旗をもつての祝賀行列がおこなわれ、また起工式は村をあげておこなわれ、その時の様子を伝える写真が北見富士神社に残されています。沓形漁港は昭和二年に岩内漁

港とともに竣工しましたが、この二港は道内における築設漁港の先

駆として重要な意味をもっています。沓形漁港の築設に伴ない、タラ釣漁業は無動力の川崎船から動力を用いた船への転用の機運が高まり、大正一五年、田尻長蔵・島村六太郎・宝田兵次郎の三氏による動力漁船（焼玉エンジン）の操業がおこなわれました。また、昭和三年に利尻札文の沖合にスケツの好漁場が発見され、岩内から漁具漁法を導入しスケツ漁業がはじまったことや、小樽航路の充実、海難事故防止など沓形漁港が町の発展に尽くした役割は非常に大きなものがあつた訳です。

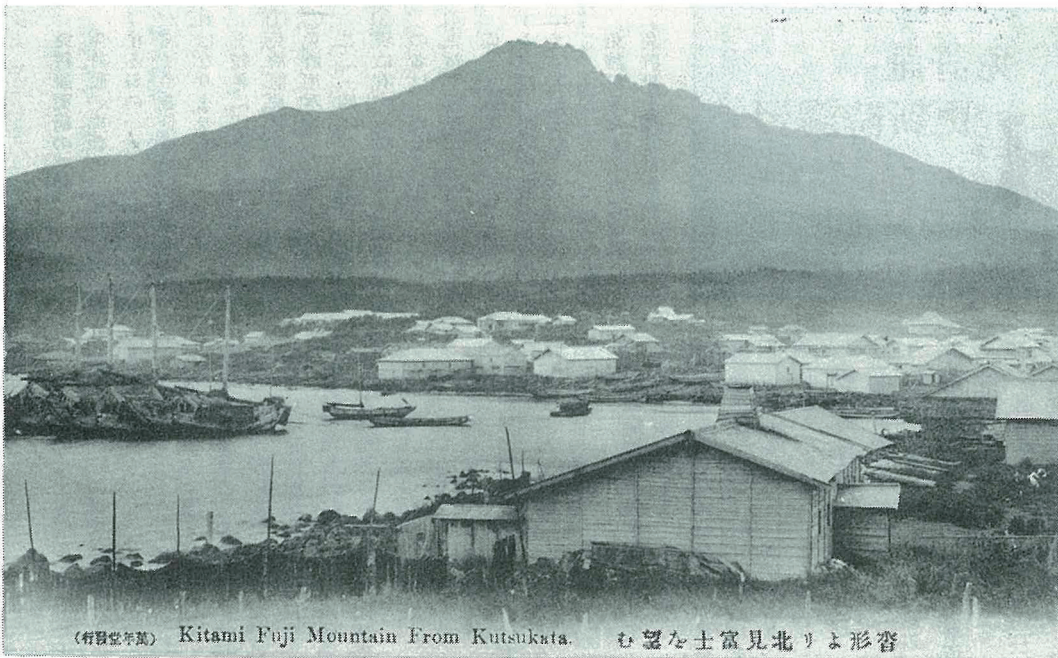
沓形漁港の築設には多くの人々のかかりがありました。

工場現場で働いた人々には、常備人夫（常夫という）、石工職人、潜水夫、土方人夫がありました。

土方人夫は沓形岬の採石場から作業現場まで、トロッコにより採石を運搬するのがおもな仕事で、日本人と朝鮮人がいました。飯場は現在の利尻航路標識事務所の近くにありました。

このように、沓形漁港はその築設の運動から完成にいたるまで多くの人々の手によって造られてきたものです。

この後、沓形港は昭和二六年「乙種港湾」、同二八年「地方港湾」、



（行發堂年報） Kitami Fuji Mountain From Kutsukuta. む 望 を 土 富 見 北 り よ 形 沓

同四五年「甲種港湾」に指定されるとともに、周辺の整備がおこな

われ現在に至っています。

（利尻町立博物館学芸員）

国民年金だより

★ 国民年金の加入手続きは

きちんとしましょう

町では、国民年金の未加入者に加入の促進をしています。お心当たりの方は早く手続きをすませてください。

国民年金は、二十歳から六十歳までの人で、厚生年金などの公的年金に入っていない人は、すべて加入する年金制度です。

国民年金に加入して、最低一年以上保険料を完納していれば、障害、母子、準母子、遺児などの年金が受けられます。二十五年以上加入すれば、六十五歳になると、老齢年金が受けられます。

二十歳になった人、他の公的年金をやめた人はもちろん、国民年金に入るはずの人で未加入の人はすぐ手続きをしてください。

★ 保険料免除の

手続きはお早目に

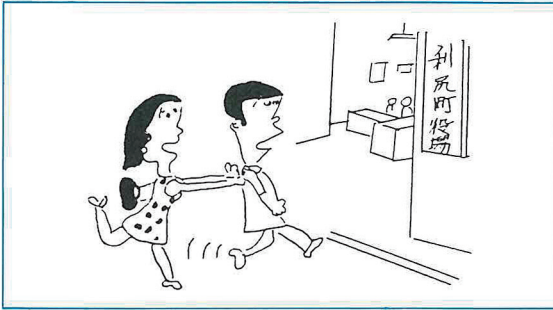
国民年金の保険料は一カ月分六、七四〇円ですが、失業や小収入などのために、保険料の納付がどうしても困難な方は、申出によっては保険料が免除されることがあります。

ます。

七月までに手続きをすれば、今年の四月分から向こう一年間は有効です。

保険料が免除されても、障害年金など納めた人と同じ額を受けられますから、滞納のままにせず、必ず国民年金係に免除の申出をしてください。

ただし、老齢年金は、免除を受けた期間だけ三分の一に減らされますので、保険料を納められるようになったら、すぐ追納をして下さい。十年以内の分ならば、旧料金が納められます。



保健だより

小児癌の一種

「神経芽細胞腫」の検査が

受けられるようになりました

この検査は小児の尿をろ紙にしみ込ませて検査センターに送れば判かるというもの。

親は食べ物に注意をすればいいだけです。

ただ今のところ生後六ヶ月児のみが対象となっているので検査に必要なものは乳幼児健診の時に渡されます。

詳しくは、役場保健指導係迄

献血の日程

本年は次の日程で行います。

香形地区

七月九日 午前十時から十一時まで

保健福祉館前

午後十二時から一時三十分まで

宗谷バス(株)前

午後一時三十分から三時まで

町民センター(役場)前

七月十日 午前八時三十分から十一時三十分まで

仙法志地区

長谷川旅館横

赤い羽根共同募金からのお知らせ

行事用「テント」を貸出します。

町民皆様方からの暖い援助による赤い羽根共同募金運動の一環として、この度、行事用「テント」を用意しました。

各自治会、各団体の行事等でテントがなくて困りの時は、北海道共同募金会利尻町分会(事務局民生課福祉係)にお申出下さい。無料でお貸しします。

北海道共同募金会利尻町分会

献血する人、受ける人



献血をする人が、年々増えています。でも、血液が必要な患者さんも増えています。医療技術の進歩に伴って血液の需要はこれからも、ますます増加すると予想されます。あなたも献血にご協力を——。

あなたからいただいた貴重な血液を、有効に利用するため、赤血球、血小板などの成分に分離し、患者さんが必要とする成分だけを輸血する方法がとられています。

この方法により、あなたの血液は2~3人の患者さんに生かされます。



分 掌 一 覧 表

保 野 力 雄
白 幡 昭 三 教 育 長 五十嵐 国 夫



仙 法 志 支 所	建 設 課	農 林 商 工 課	水 産 課	民 生 課				住 民 課	總 務 課											
支 所 長	課 長	課 長	課 長	(課 長 笹 原 喜 一) (保 育 所 長 兼 務)				課 長	課 長											
沢 谷 勉	柿 元 秀 夫	柴 田 喜 義	田 島 順 逸					上 田 紀 宏	佐 々 木 捷 昭											
	水 道 係	施 設 係	商 工 觀 光 係	農 林 係	港 灣 係	水 産 係	保 健 指 導 係	保 健 係	仙 法 志 保 育 所	沓 形 保 育 所	國 民 年 金 係	福 祉 係	広 報 交 通 安 全 係	住 民 係	總 務 課 付	稅 務 係	管 財 係	出 納 係	財 政 係	總 務 係
次 長 北 島 利 行	係 長 水 橋 敏 三	係 長 後 藤 博 之	係 長 上 遠 野 浩 志	係 長 前 川 修 士	係 長 大 腰 敏	係 長 寺 山 明	係 長 平 野 ひ と み	係 長 白 幡 忠 雄	公 務 補 石 垣 信 子 (臨 職)	主 任 保 母 兼 田 美 千 代	主 任 保 母 柿 元 誠 子	係 長 山 本 敏	係 長 松 枝 正 敏	係 長 上 田 紀 宏	安 田 太 郎	係 長 中 村 謙 造	係 長 佐 藤 元 紹	係 長 不 破 豊	係 長 保 野 洋 一	係 長 齊 藤 俊 明
係 谷 内 イ ミ	係 西 島 孝 人	係 能 谷 幸 男	係 葛 西 圭 吾	係 本 波 修 悦	係 安 達 克 幸	係 高 山 博 通	係 柴 田 修 子	係 高 山 博 通	保 母 石 岡 明 美	公 務 補 工 藤 ソ メ	保 母 浜 田 香 織	係 小 杉 雪 乃	係 古 屋 恵 一	係 田 尻 隆 志	係 小 杉 和 樹	係 小 杉 和 樹	係 根 上 光	係 川 端 一 輝	係 坂 本 輝 彦	
・加 島 利 一	・酒 本 俊 司	・八 講 博 之			・平 等 清 文	・今 野 淳			・柿 元 宏 美	・佐 野 和 子	・濱 田 香 織			・齋 藤 早 苗	・小 玉 喜 衛	・佐 野 洋 之		・塩 谷 美 靜	・矢 田 秀 喜	
																			・小 杉 美 智 子	公 務 補 吉 田 茂 春

利尻町事務



町 長
収 入 役

助 役 糸 谷 克 明

議 会 事 務 局	教育委員会		国民健康保険病院		砕 石 事 業 所	国 民 宿 舎
	局長	次長	院長 林 憲 雄	醫師 尾 畑 弘 美		
米本末松	大島 正 治		看護婦長	事務長	板谷静夫	
書 記 小 坂 実	各施設公務補	各学校公務補	社会教育係	岩島好子	事 務	支 配 人 根 塚 浅 夫 係 村 谷 邦 彦 調 理 士 張 間 真 理 男
	公民館赤坂良勝 研修センター角脇康一(臨職)	仙中熊田優子(臨職) 久連小佐孝福造	啓小脇川勘次郎 新湊小佐藤ハツエ	啓中照井春治(臨職) 仙小佐孝静江		
			公民館飯田敏一	公務補	運 転 技 術 員 関 恩	
			博物館学芸員 西谷栄治 係小玉育美	看護婦	現場主任 工藤 均・北村正人	
			係長 欠 員 係 沢谷 敬	看護主任	次長 齊藤順悦 係 平野実一	
			係長 宮森英明 係 辻めぐみ・齊藤喜好(兼社会教育係)	理学診療係		
			係長 堀田秀利	薬事係		
			係長 永沼孝一 係 大窪純江 検査室 品田昌彦・佐々木真一 兼 養士 佐野千孝	総務係		
			中村美佐子	公務補		
			鈴木みどり・草間百合子・堀田るり子・小杉ひとみ・鎌田せつ子・永井由美子・八講美香・清水里美・八講恵美子・梅谷初美			
			吉田優子			



一、お中元は「ふるさと小包」でお中元のシーズンです

日ごろお世話になっていている方へのお中元に最適なのが郵便局の、「ふるさと小包」です。

「ふるさと小包」は、海の幸、

山・川の幸の道内特産物が一〇〇品目もそろっていて、お近くの郵便局の窓口で申し込むだけで、全国どこへでも郵便小包でお届けするものです。

取扱品目のカタログは郵便局の窓口にあります。

二、涼しさ伝える夏だより

暑中見舞用絵入りがきのご利用を

いよいよ本格的な夏の到来です。友人や知人の方から、暑中見舞いや旅先からの便りをもらうのは、たいへんうれしいものです。

現在発売中の暑中見舞用絵入りがきは、裏面に夏のひとときに涼風を届けるような柔らかに淡いたッチの夏の風物の絵が書かれています。

これは、暑中見舞としてだけでなく、家族の近況、旅行や夏祭りなどを伝える「夏だより」用としても幅広く使用できますのでご利用ください。

三、毎月二十三日は「ふみの日」です

郵政省では、多くの人に手紙の良さ、すばらしさを再認識していただくために毎月二十三日を「ふみの日」と定め、手紙を書く運動を展開しています。

手紙を書くことにより、

文章になじみ、心が豊かになります。

知識と教養を高めます。

自分の気持を相手に、整理して伝えることができます。

他人に対する思いやりを育てることができま。

記録に残ります。

海外文通により、楽しく語学が学べます。

また、七月二三日（ふみづきふみの日）には、「ふみの日」にちなんだ切手を発行するほか、各地でいろいろなキャンペーン施策を予定しています。

皆さまも「ふみの日」を契機に手紙を書いてみませんか。

四、電子郵便の愛称「レタックス」

皆さまから好評をいただいでい

ます郵便とファクシミリを組み合わせたニューメディア時代の郵便「電子郵便」に「レタックス」という愛称がつけました。

これは、レターとファックスを結びつけたもので、新しい郵便というイメージを表わしています。

また、レターXの意もあり、未知の可能性を秘めた新しい郵便というイメージも有しています。

レタックス（電子郵便）は、

料金五〇〇円（通信文一枚の場合、二枚目からは一枚につき

三〇〇円が加算、最高六枚まで）

図表、イラスト、手書きのメッセージをそっくりそのまま送れます。しかも、B四サイズ以内なら字数の制限はありません。

お祝いに、ビジネスに、ピッタリのホットメッセージですので、どうぞ、ご利用ください。

五、第十七回簡保・年金資金写真コンクールの作品募集

郵政省では、財団法人簡保資金研究会と共催し、簡保・年金資金でつくられた施設及び簡易保険・郵便年金加入者福祉施設を題材とする写真コンクールを本年も次の要領で実施しています。

募集期間
昭和六十年五月一日から七月三十一日まで

三十一日まで

(一) テーマ

簡易保険・郵便年金資金でつくられた施設、又は簡易保険・郵便年金加入者福祉施設を題材とした作品。

(二) 作品の大きさ

カラーの部

「四ツ切」又はスライド（三五ミリ以上）

白黒の部

(三) 応募作品の受付

最寄りの郵便局で受け付けます。

(四) 賞

カラーの部、白黒の部、それぞれ「郵政大臣賞」ほか、いろいろあります。

賞や審査員、応募上のきまり、入賞発表等くわしいことは最寄りの郵便局の窓口でお尋ねください。



海の記念日 7月20日

「利尻高校生325名による人文字、60,6,17,りしり」



「口から口へ」の批評が一番の原動力です。従って、観光客に直接接する商店、旅館、交通機関等の皆さん方をはじめ町ぐるみで、観光客を親切に迎え観光「りしり」の町づくりにご理解とご協力をお願い致します。

しかし、観光は訪れる観光客の「口から口へ」の批評が一番の原動力です。従って、観光客に直接接する商店、旅館、交通機関等の皆さん方をはじめ町ぐるみで、観光客を親切に迎え観光「りしり」の町づくりにご理解とご協力をお願い致します。

いよいよ観光シーズンに入りました。今年の観光は明るい話題が多く、かつて利尻礼文が国立公園に昇格した頃、カニ族を中心に大変賑わった為、離島ブームと呼ばれていますが、今日世相の流れと共にカニ族の姿は消えたものの、利尻礼文は旅行者の脚光を浴びて、再び離島ブームの兆しを見せております。



◎知っておきたい利尻の知識

利尻・礼文・サロベツ国立公園

観光

町ぐるみで、観光客を親切に迎えようの心で受入体制を

利尻山

アイヌ語で「高い山」とし「島」が語源。
 锥形登山コース…中級向コース（所要時間5～7時間）景観重視コースとも言われ5合目（見返台公園）まで車で行ける。
 鷲泊登山コース…初級向コース（所要時間5～7時間）

見返台公園

車道利尻登山線の終点（道々から約5km・5合目）に位置する公園である。駐車場から約280mの地点にあるハイマツ林に囲まれた展望台からは利尻島のおよそ1/3が見渡せ、晴れた日には天売焼尻島も望むことができる。（駐車場、展望台、広場、便所、自然探勝歩道有）

寝熊の岩

昔、熊のいないこの島に住んでいたアイヌ達が毎年この穴洞に集まり、岩熊の廻りを熊祭りの夜を明かしたと言い伝えられます。

会津藩士の墓

沓形市街より約2kmの地点にあり、文化4年（今から約170年前）ロシア軍が礼文島に侵略の際対戦殉じた会津藩士が静かにお亡なっています。（利尻町砕石事業所入口）

沓形岬公園

沓形市街地より徒歩5分、利尻町出身の詩人時雨音羽先生の「出船の港」の一章を刻んだ歌碑がある。（キャンプ場、駐車場、展望台、水飲場、便所、釣場有）

天望山公園

種富町より2kmへだてた高台にあり、偉容利尻山を仰ぎ眼下に沓形市街、遠くは礼文島が眺望できる。（町営砕石事業所入口より約2km）（展望台、駐車場、広場、便所有）

北のいつくしま弁天堂

今を去る80年前、この地の開拓を志し、若者数名が舟乗船に乗り組んだが大暴風雨に遭い、岩に打ち砕かれようとした時、帆柱が倒れて橋となり無事難を逃れたことから、弁天堂の御加護によるものと信じ、小祠を建立して信仰したことに始ると伝えられています。

千島桜

仙法志長浜より約6km隔てた山麓に千島桜の群生があり（約1,000本）昭和43年12月北海道天然記念物に指定されています。

仙法志御崎公園

奇岩奇石ですぶる変化に富む岩間には海岸植物のシロヨモギ等が咲き乱れる。又、自然の磯を利用して作った水族館では、ホッケ・メバル等を見ることができる。（駐車場、展望台、水飲場、便所、釣場有）

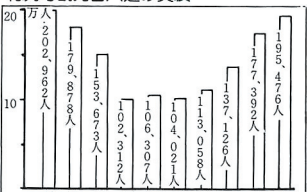
利尻町立博物館

昭和55年5月1日オープン。「自然＝海＝人間の調和」を基本テーマに展示を行っている。
 入館料 一般 100円（団体80円）
 小中学生 50円（団体30円）
 ＊団体30名以上
 休館日 毎週月曜日、祝日の翌日
 開館期間 5月1日～11月30日

ぎつね森

今から50年前の頃、この森を城にしていたキツネは沢山いたが、その中に稲荷大明神の使いといわれる白いキツネがいたといわれ、実話にもとづく言い伝えがあるなど、今でも「キツネの森」として町民に親しまれている。

利尻町観光客入込み実績



お願い

◎「ゴミ公害追放」「ゴミ持ち帰り運動の推進」

各公園をはじめ、山に入った場合は、必ずゴミを持ち帰るようお願い致します。

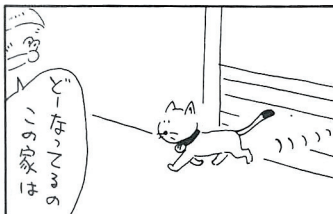
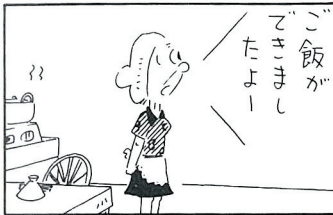
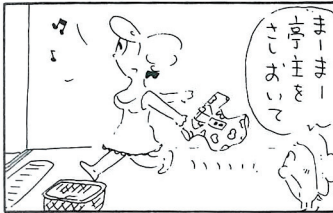
◎高山植物などの保護のお願い

郷土の自然を保護するために皆さんのご協力を強くお願い致します。又、見返台公園周辺には数種類の高山植物がありますが、採取すると法律で罰せられますのでご注意ください。



☆わやか 君

西村 宗



氏名 近田 昌義
山口 剛史 一 長男 泉町
保護者 続柄 住所
神居 二男 神居 住所



お誕生おめでとう
ごぞいます



戸籍の
うごき

いつまでも
お幸せに

自 5 月 1 日
至 5 月 31 日



氏名 熊谷 巧
神 実佐子 種富町
船橋 淳二 新湊
清水 里美
戸来 仁志 泉町
石黒 郁子
洞口 清 種富町
中村 タカ

ご厚情に
感謝します

このたび次の方から愛情銀行に
金一封が預託されましたので、紙
上を借りてお礼申し上げます。
沓形字富士見町
飯田千恵子様から
夫健一様の香典返しを廃して
(利尻町社会福祉協議会)

おくやみ
申上げます

氏名 飯田 健一 五〇歳 富士見町
能村 ハル 八六歳 緑町
年 齡 住所



発行 利尻町役場

編集 住民課広報交通安全係 ☎四一三四五番

今月の納税 保 険 税 第 1 期

(納期 7 月 31 日まで)

お知らせ — 利尻町国保病院

○ 小 児 科 診 療

8 月 23 日

医 師

旭川医大小児科長 長 和彦 先生

交通事故死 〇 目標 1500 日

達成日 昭和60年10月25日

- スピード・ダウンで安全運転を!
- シートベルトは必ず着用しましょう。



利尻町交通安全推進協議会
沓形、仙法志交通安全協会

印刷 仙法志印刷